

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害、軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

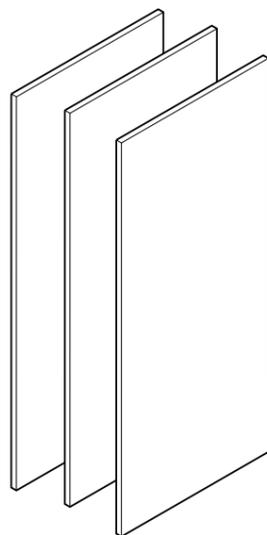
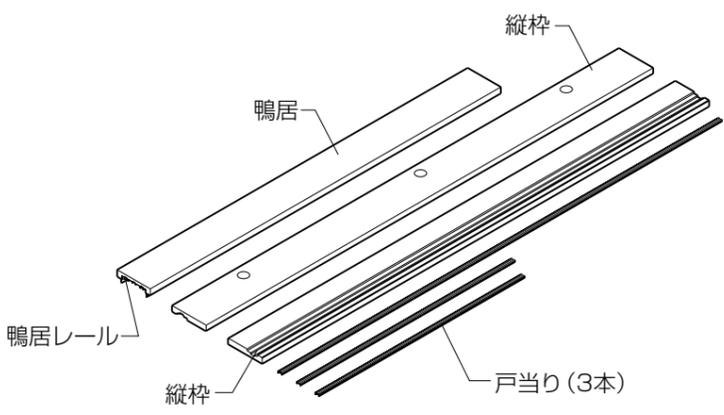
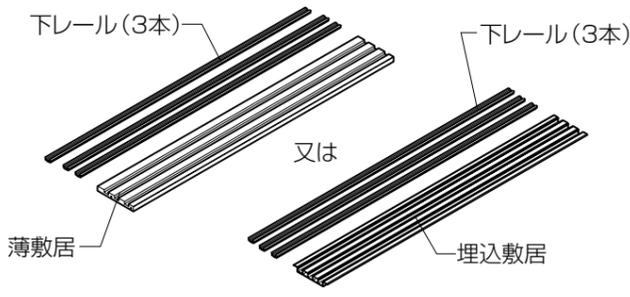
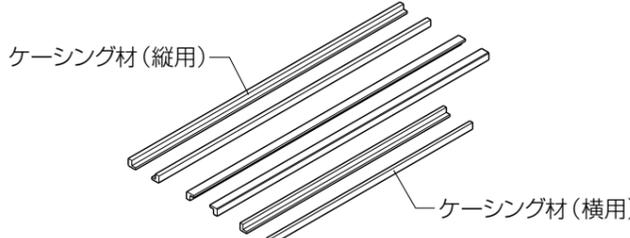
- 枠固定金具の調整範囲（調整幅7mm）をこえる開口部については必ず柱・間柱・まぐさを入れ調整範囲を満たすようにしてください。枠・本体が脱落するおそれがあります。
- 枠固定金具が柱に固定されていることを確認してください。
固定ねじの締め忘れは枠・本体の脱落の原因になります。
- 本体と縦枠の上・下部のチリが均等か確認してください。均等に調整されていない場合、本体が外れるおそれがあります。

■取付け上のおお願い

- 枠を取付ける際、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付ける時には必ず接着剤を併用してください。
- かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- かい木には、合板などの乾燥材を使用し湿潤材は使用しないでください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。
- 他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂下がり・ゆがみなどの原因となります。（本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。）
- 造作材・建具材の下地材は、必ず乾燥材（含水率20%以下）を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損するおそれがあります。
- 建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくって納めてください。縦枠と柱・間柱とのすき間は枠固定金具を調整してすき間をなくし内装ボードを必ず縦枠に突きあててください。突きあてができない場合はかい木を入れてください。上枠とまぐさのすき間は、必ずかい木を入れてください。
- コンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 運搬・加工の際は、キズ付けないように取扱ってください。又、水・直射日光の当たる場所に、開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず施工前にお買求め店までご連絡ください。（施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。）

■部材一覧表

※枠はロックダウン、本体は完成品です。

連動方式3枚引戸用本体	連動方式3枚引戸用枠	連動方式3枚引戸用敷居
 <p>1枚梱包X3（本体引手付き、本体中央、本体引手なし 各1枚）</p>	 <p>縦枠 鴨居 鴨居レール 縦枠 戸当り(3本)</p>	 <p>下レール(3本) 薄敷居 又は 下レール(3本) 埋込敷居</p>
ケーシングセット（ケーシング付タイプのみ）		
 <p>ケーシング材（縦用） ケーシング材（横用）</p>		

■ねじ・部品セット一覧表

■枠用

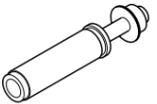
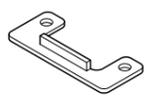
姿図			
名称	皿小ねじM4X50 (上枠・縦枠組立て用)	皿タッピンねじφ3.5X50 (鴨居躯体取付け用)	ナベタッピンねじφ4X40 (枠固定金具取付け用)
1620	4	※8	6

※予備用4本含む

■敷居用

姿図		
名称	皿小ねじM4X50 (敷居・縦枠組立て用)	ナベタッピンねじφ4X40 (敷居取付け用)
薄敷居W16	4	—
埋込敷居W16	—	5

■本体用(中本体)

姿図						
名称	ガイドローラー	ガイドローラー (本体中央用)	戸当りプレート	戸当りキャップ	ナベ小ねじM4X25 (戸当りキャップ取付け用)	トラスタッピンねじφ3.5X20 (戸当りプレート取付け用)
1620	5	2	2	2	2	4

■開口部の作り方

※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

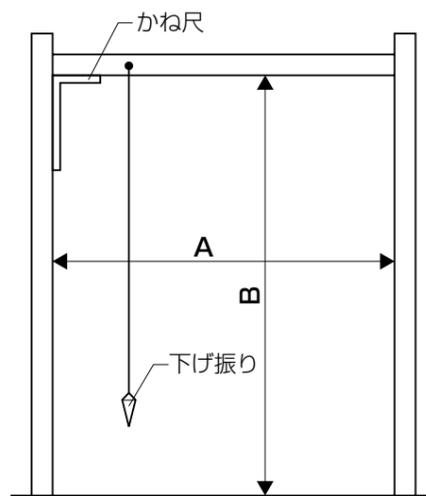
開口寸法A	製品寸法W+5mm
開口寸法B	製品寸法H+5mm

■壁厚の違いによる枠とケーシングの組合せ

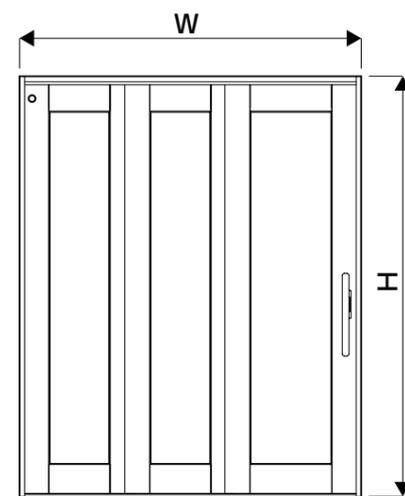
(単位: mm)

	ケーシング(足寸法)	対応壁厚
連動方式 3枚引戸	8	146~156
	14	157~168
	19	169~176
	25	177~188

●開口寸法



●製品寸法



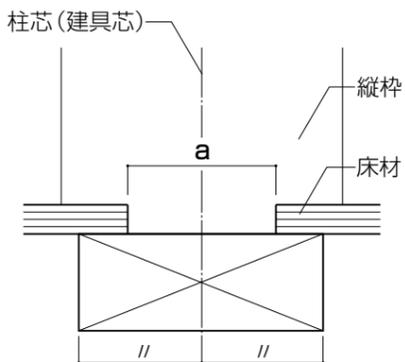
■床の張り方

〔床先張り(枠後付け)の場合〕

※床材は、柱芯(建具芯)を中心にa寸法あけて張ってください。

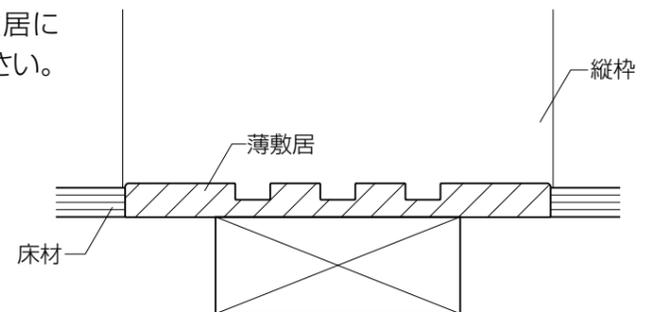
枠機種	a寸法
連動方式3枚引戸	96

(単位: mm)



〔床後張り(枠先付け)の場合〕

※枠取付け後、縦枠・薄敷居にそって床材を張ってください。



■取付け順序

1 枠の組立て

〔床先張り(枠後付け)の場合〕

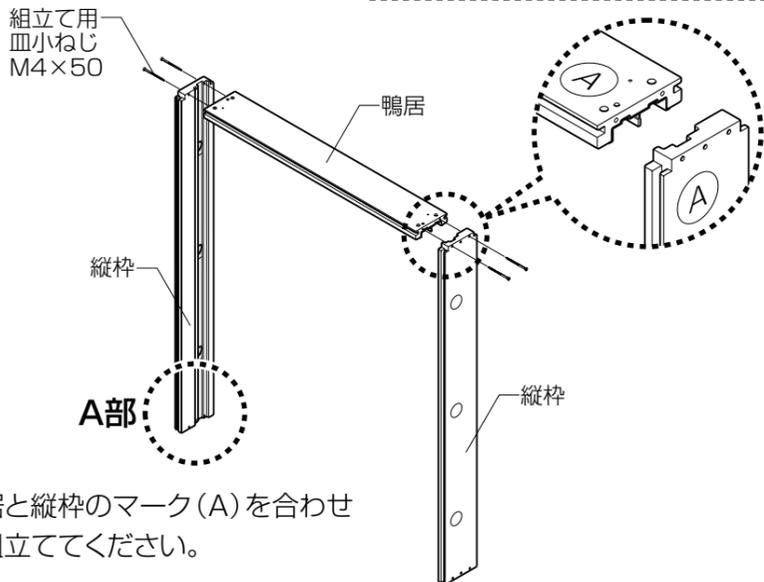
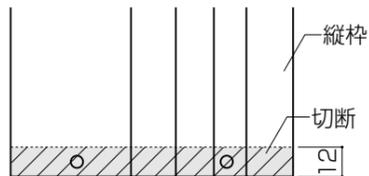
- ※埋込敷居を使用してください。
- 図のように、各部材を組合わせ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)で固定します。

■埋込敷居



■A部詳細図

- ※縦枠(斜線部)を切断してください。切断する際は、下部に付いている部品を取外してください。切断後はこの部品は不要です。



※鴨居と縦枠のマーク(A)を合わせて組立ててください。

〔床後張り(枠先付け)の場合〕

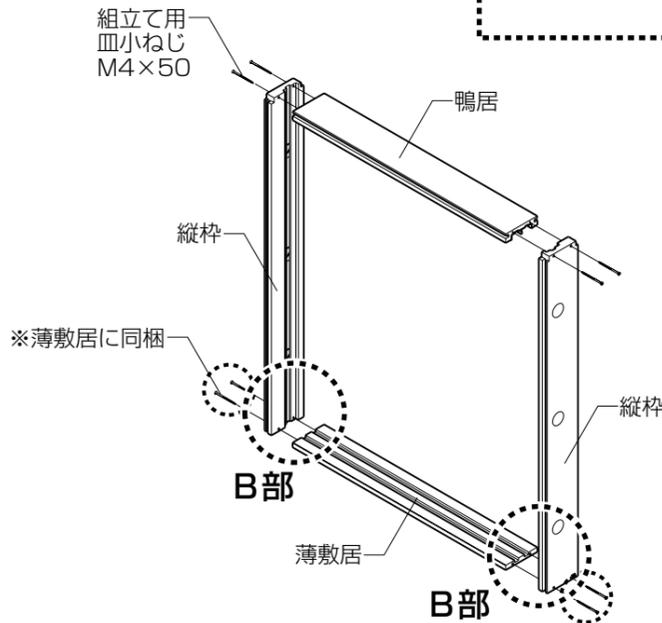
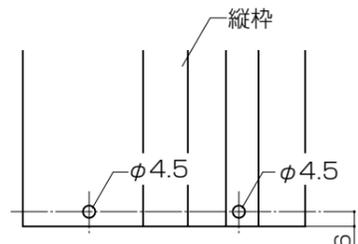
- ※薄敷居を使用してください。
- 図のように、各部材を組合わせ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)で固定します。

■薄敷居



■B部詳細図

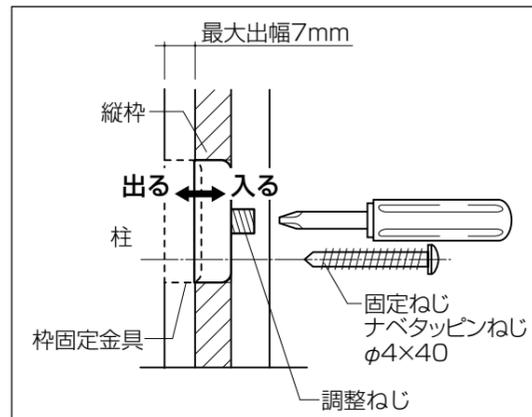
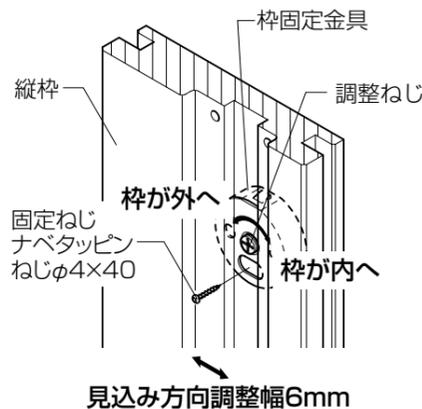
- ※縦枠(下穴加工済み)を切断せずに使用してください。



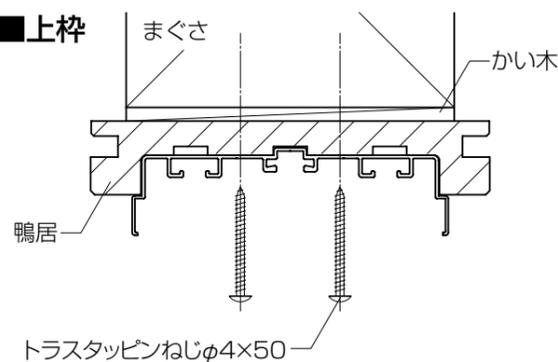
2 枠の取付け

- ①縦枠に取付けられている枠固定金具(縦枠に3個取付け)の調整ねじを時計回りに回し、金具を均等に出してください。
- ②枠の垂直を確認してください。
- ③固定ねじ(ナベタッピンねじφ4×40)を枠固定金具の長穴中央部より締付けてください。
- ④枠の奥行方向のたおれを確認してください。たおれている場合は、固定ねじをゆるめ、枠を動かします。(見込み方向の調整幅は6mmです。)調整後、ねじを固定してください。
- ⑤枠の垂直を確認してから、枠固定金具の取付いている部分の開口寸法が均等になるように調整してください。
- ⑥再度、枠の垂直を確認してください。
- ⑦鴨居にかい木を入れてトラスタッピンねじφ4×50で固定してください。

■縦枠



■上枠

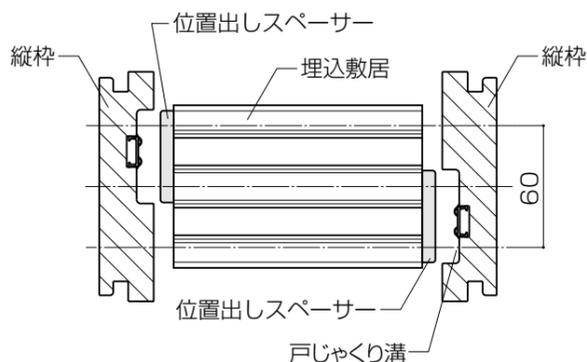


お願い

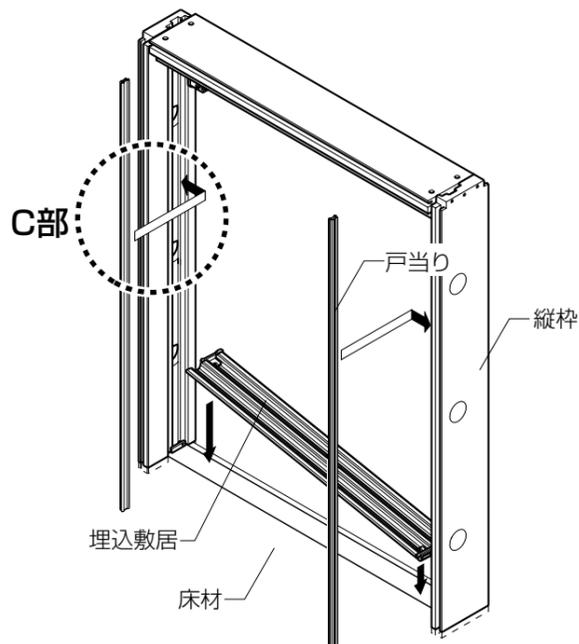
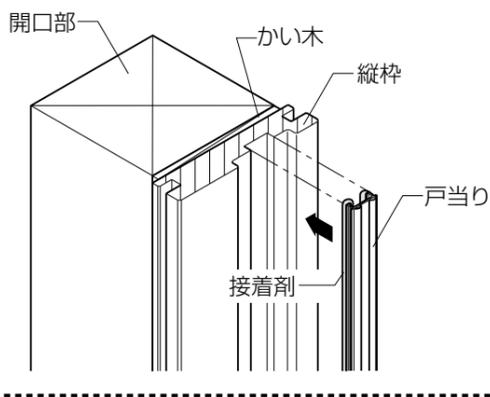
- ※枠固定金具の調整には電動ドライバーを使用しないでください。
- ※必ず内装ボードは縦枠に突きあてて施工してください。突きあてができない場合は必ずかい木を入れてください。

〔埋込敷居を使用(枠後付け)の場合〕

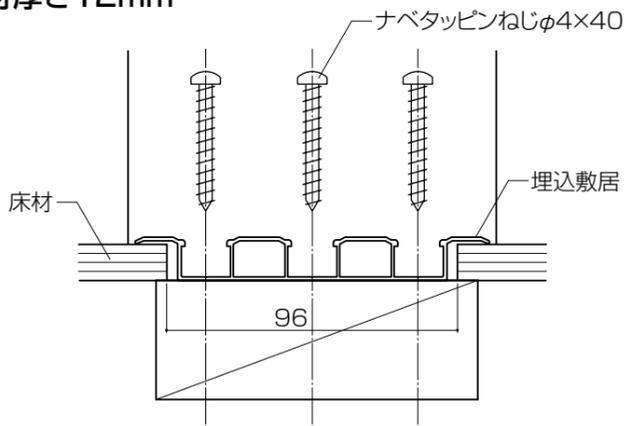
- ①埋込敷居に付いている位置出しスペーサーを、縦枠の戸じゃくり溝に合わせます。
- ②同梱のねじで固定します。
- ③戸当りに接着剤(現場手配)で溝をふさぎます。※戸当りは必ず、敷居取付け後に取付けてください。



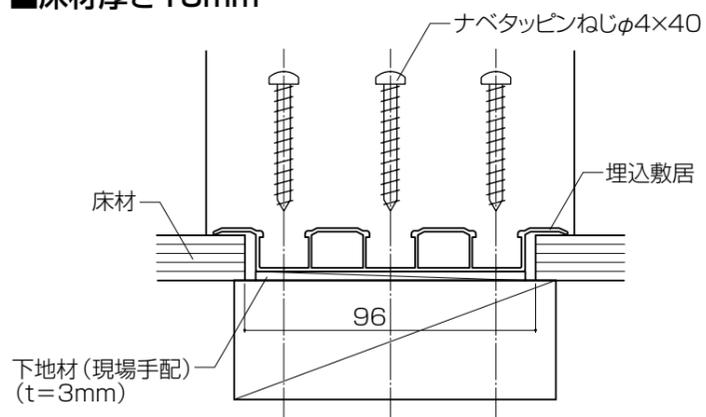
■C部詳細図



■床材厚さ12mm



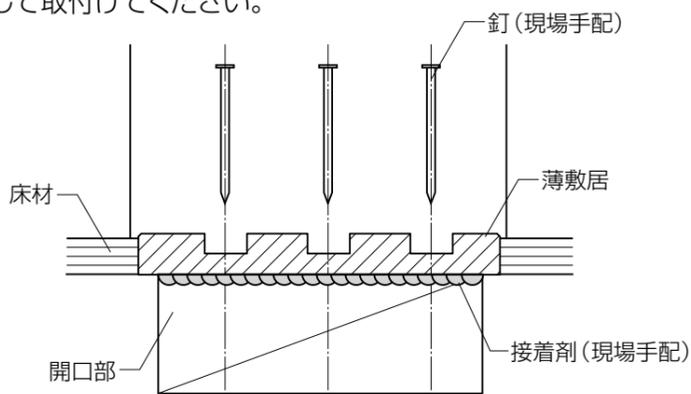
■床材厚さ15mm



〔床後張り(枠先付け)の場合〕

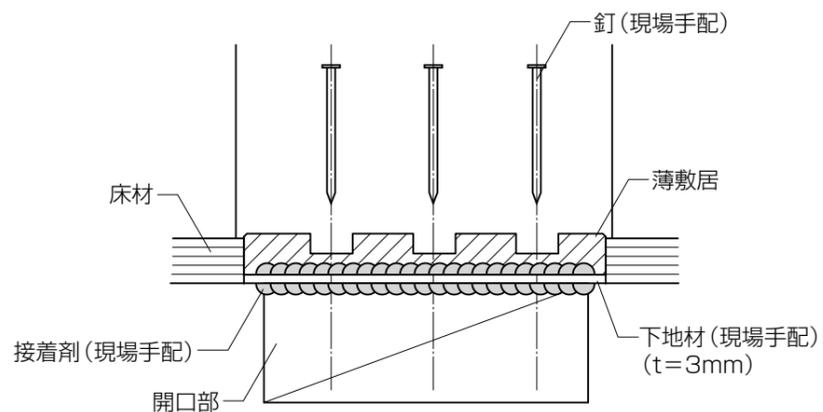
■床材厚さ12mm

※必ず薄敷居に接着剤を付け、躯体に固定してください。
 ※釘は端部より100mm離し、450mmピッチで接着剤と併用して取付けてください。



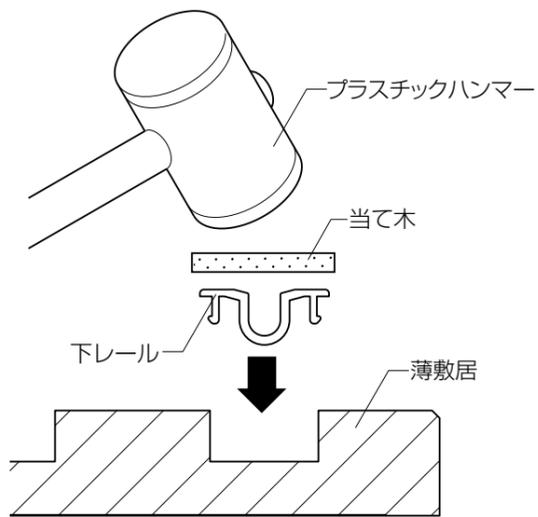
■床材厚さ15mm

※必ず薄敷居と下地材に接着剤を付け、躯体に固定してください。

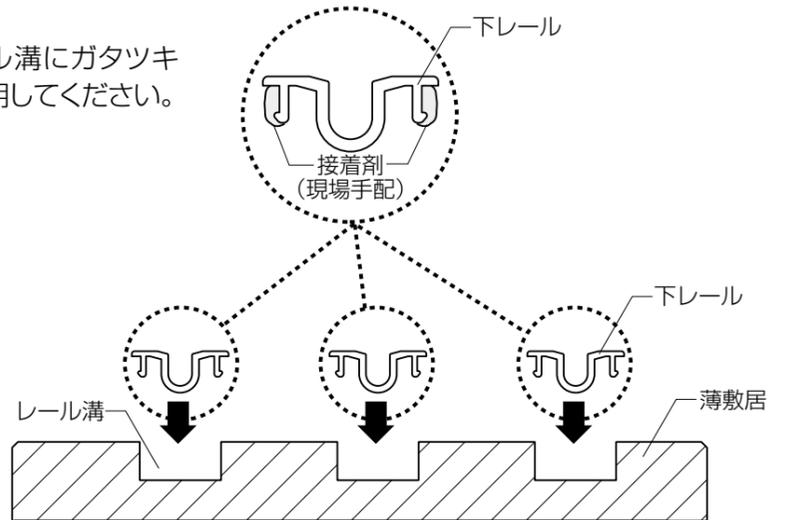


③ 下レールの取付け

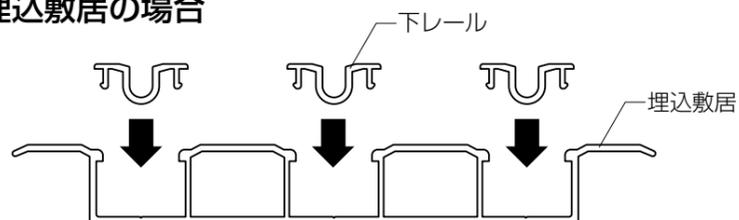
●下図のように敷居の溝にプラスチックハンマーなどでたたき込んで固定します。



※接着剤は、レール溝にガタツキのある場合に使用してください。



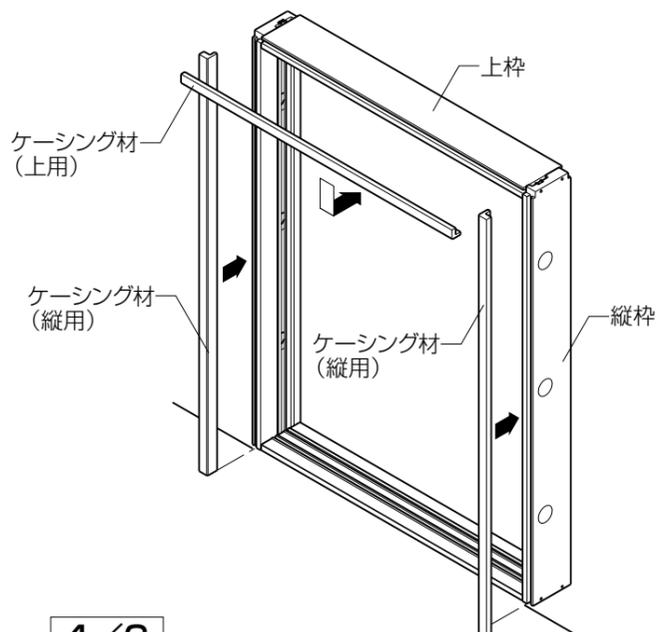
■埋込敷居の場合



④ ケーシング材の取付け(ケーシング付タイプのみ)

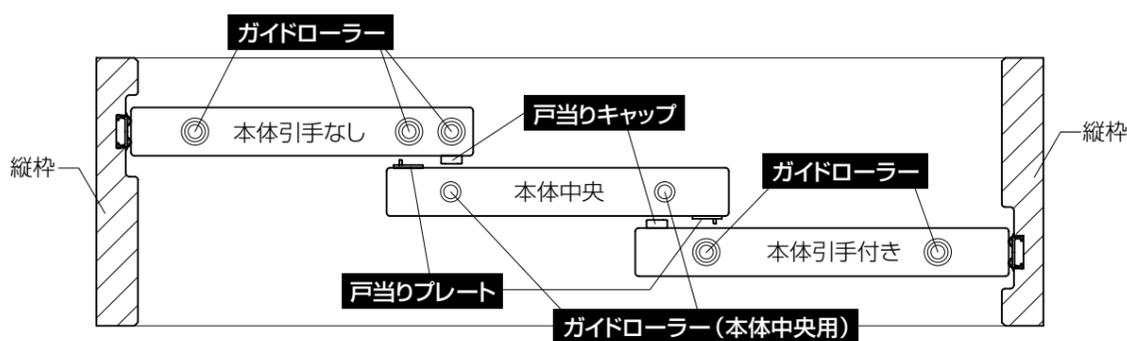
※壁材・床材を仕上げからケーシング材を取付けてください。

- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。
- ②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。
- ③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤を塗布し、ケーシング材を固定します。

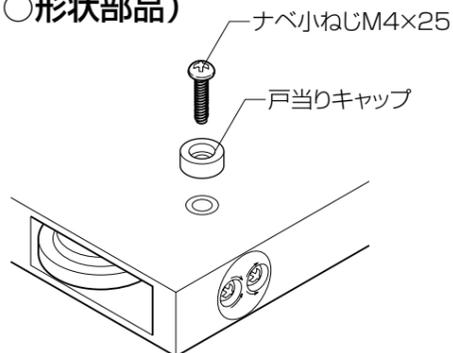


5 本体の取付け

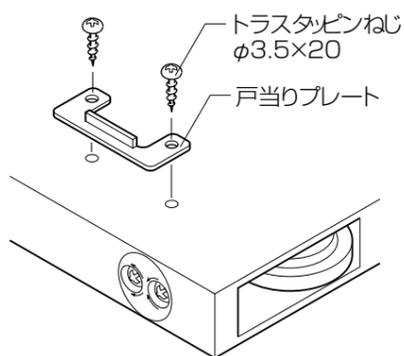
① 本体へ各部品を取付けます。



戸当りキャップの取付け (○形状部品)

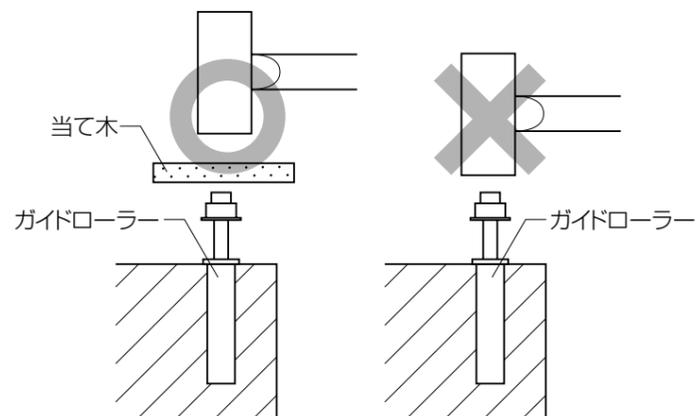


戸当りプレートの取付け (コの字形状部品)

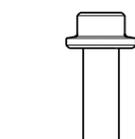


ガイドローラーの取付け

● ガイドローラーを圧入する際、樹脂部に当て木を使用してください。



※ガイドローラーの形状は、本体中央用と本体引手付き、本体引手なしで異なります。



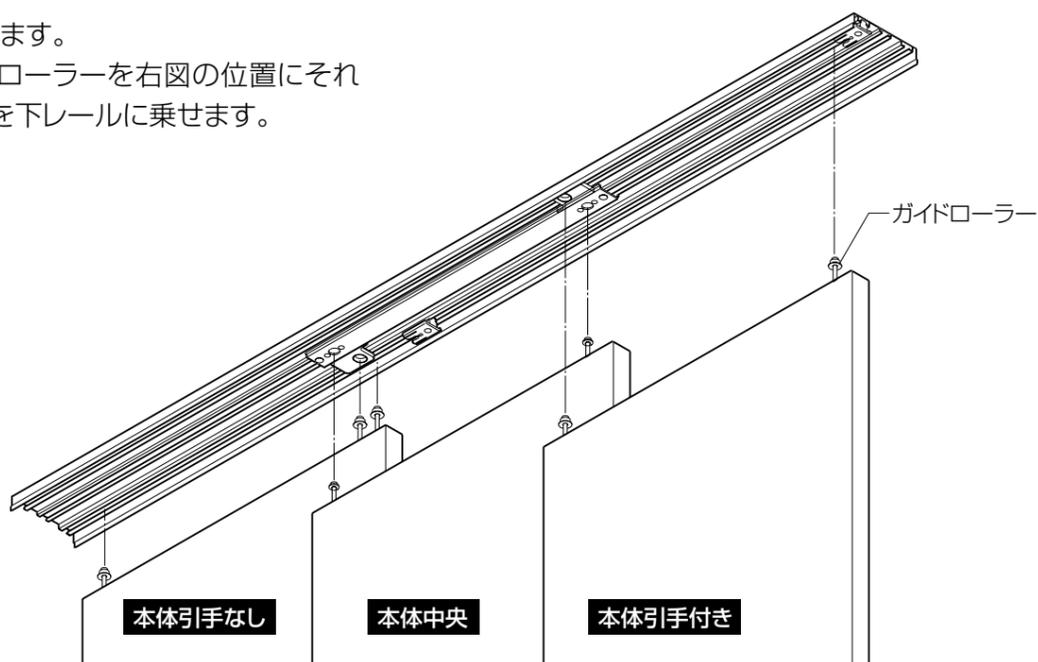
【本体中央用】



【本体引手付き用】
【本体引手なし用】

② 本体を枠に吊込みます。

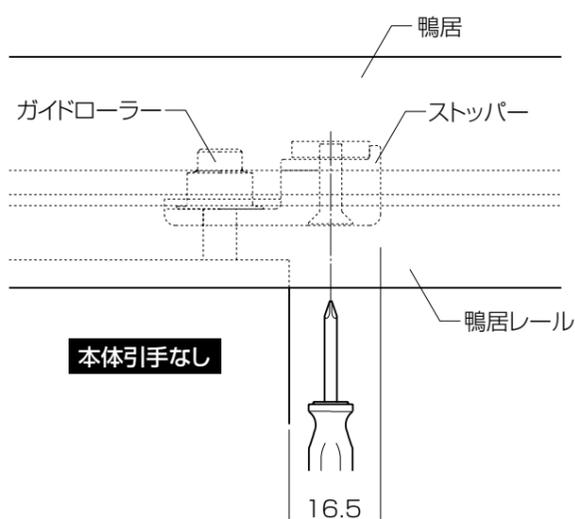
本体上部のガイドローラーを右図の位置にそれぞれ差込み、戸車を下レールに乗せます。



引戸の建付け調整

ストッパーの調整(本体引手なし側)

- ① ストッパーの固定ねじをゆるめます。
 - ② 下図のように正しい位置にストッパーを動かします。
 - ③ ストッパーの固定ねじを締めてください。
- ※ 本体の高さ調整を行った後に、ストッパーの位置を調整してください。
※ ガイドローラーがストッパーの正しい位置に納まるようにしてください。

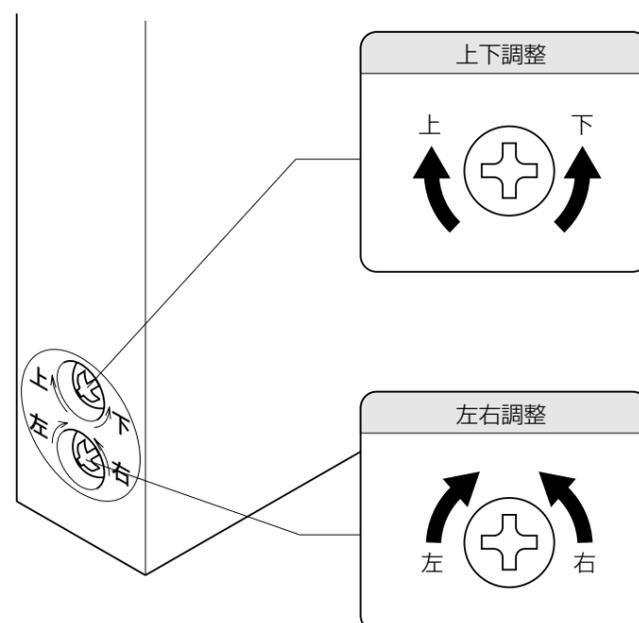


上下調整(調整幅+4mm、-2mm)

● 本体両下端の上下調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。

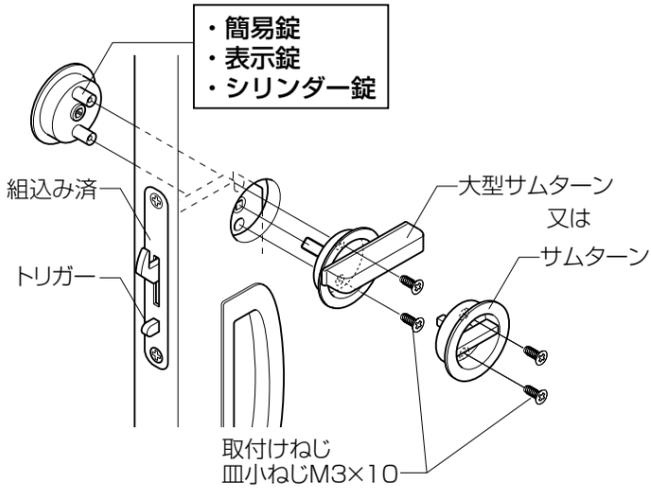
左右調整(調整幅±2mm)

● 本体両下端の左右調整ねじを左に回すと本体が右に動き、右に回すと左に動きます。
※ 左右調整をする場合は、本体同士がぶつからないようにご注意ください。



■引戸錠 (サムターンの取付け)

- 別売りの錠を下図のように組立ててください。
- ※取付けねじを締めるときに、いったんトリガーを押さえて閉状態にしてから取付けてください。
- 大型サムターンの場合、ツマミを水平状態にしてから取付けてください。
- ※大型サムターンは表示錠のみの設定になります。

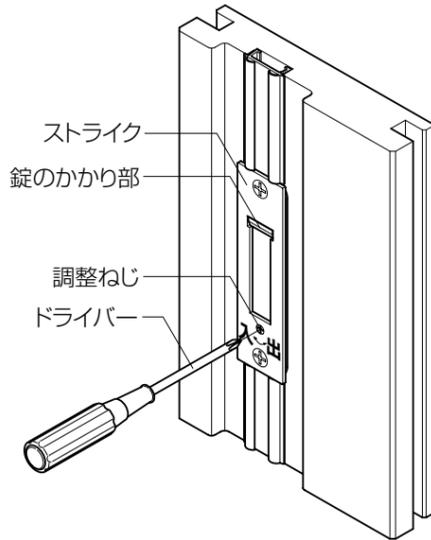


■バーハンドルの取付け

- ※バーハンドルの取付けについては、別梱のバーハンドルセットに同梱の取付け説明書をご覧ください。

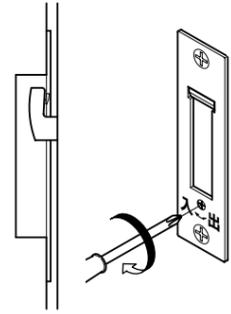
〔引戸錠のかかり調整〕

- ストライクの調整ねじを左に回すと錠のかかり部が出て、右に回すと錠のかかり部が奥に入ります。



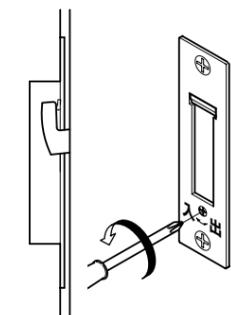
●本体と枠のすき間が大きい場合

調整ねじを右に回して調整してください。



●錠がかかりにくい場合

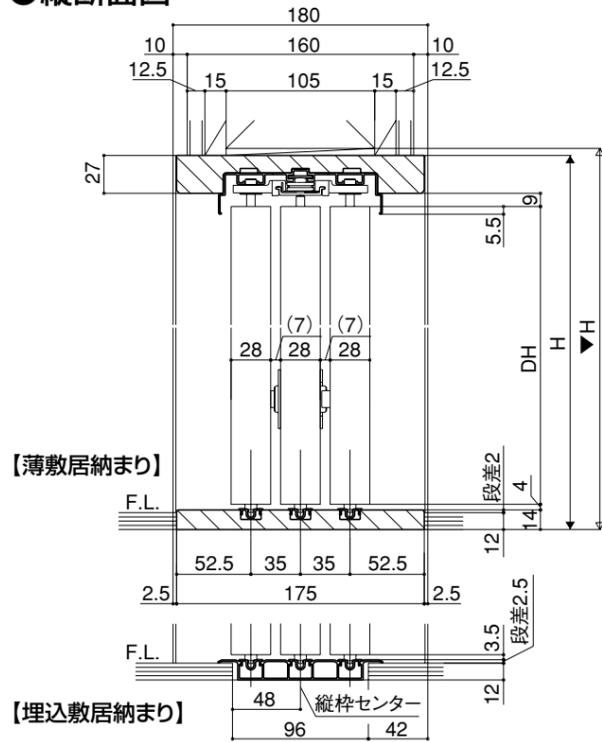
調整ねじを左に回して調整してください。



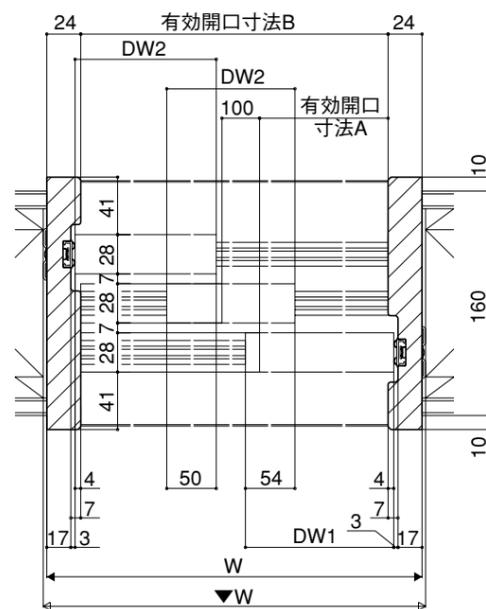
■納まり図

■ノンケーシング

●縦断面図



●横断面図



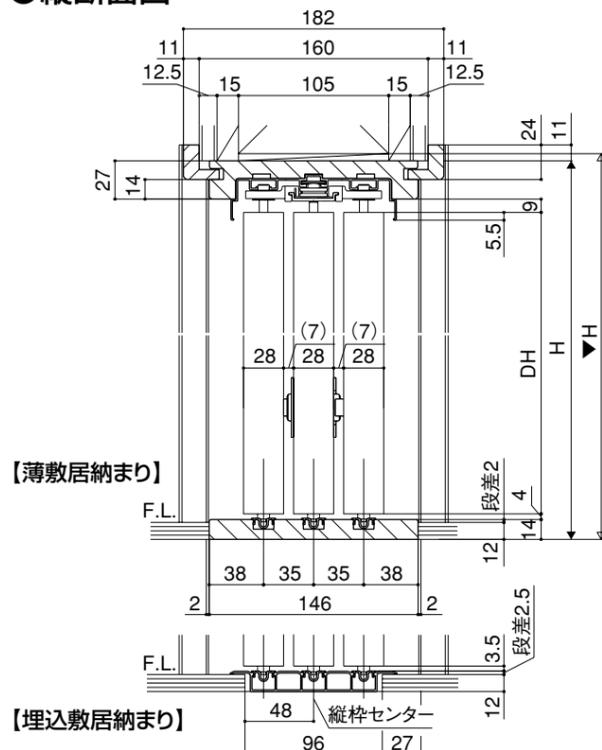
■形材一覧表

部材名称	NC156		NC171		NC180	
	形材番号	枠幅寸法	形材番号	枠幅寸法	形材番号	枠幅寸法
縦枠	2159	156	2160	171	2161	180
鴨居	1175A	151	1176A	166	1177A	175
薄敷居	1094	151	1095	166	1096	175
埋込敷居	1097	117	1097	117	1097	117

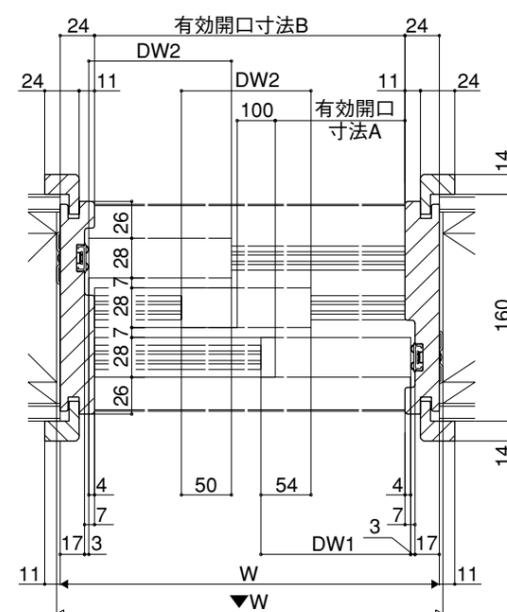
W呼称 (枠外寸法)	A寸法	B寸法
W16 (1644)	960	1596

■ケーシング付

●縦断面図



●横断面図



■形材一覧表

部材名称	150	
	形材番号	枠幅寸法
縦枠	2151	150
鴨居	2144B	146
薄敷居	2177	146
埋込敷居	1097	117

W呼称 (枠外寸法)	A寸法	B寸法
W16 (1644)	960	1596